

以下、本文-----

内視鏡治療後の遺残再発大腸腫瘍に対する Underwater EMR の有用性の検討

1. 研究の対象

2013 年 10 月以降に当院で大腸内視鏡による手術を受けられた方のうち、内視鏡治療後の局所再発病変(治療された部位と全く同じ部位にできた腫瘍再発)に対して、粘膜下層剥離術もしくは浸水下の粘膜切除術による治療を受けられた方を対象とします。

2. 研究目的・方法

大腸腫瘍に対する内視鏡治療後の遺残再発病変は癒痕を伴うため、従来のポリペクトミーや内視鏡的粘膜切除術(EMR)による摘除が困難です。そのような病変に対して、内視鏡治療法としては内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)、Underwater EMR(UEMR)が有用とされていますが、それぞれの治療法を比較した報告はありません。そのため、UEMR と ESD の背景因子や治療成績を比較検討します。上記対象の方のその後の経過観察を加味し研究期間は 2018 年 2 月～2020 年 3 月とします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:病歴, 内視鏡治療記録, 病理所見, 合併症等の発生状況, カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

研究責任者:大阪国際がんセンター 消化管内科 大森 正泰

研究分担者:大阪国際がんセンター 消化管内科 竹内 洋司

大阪国際がんセンター 消化管内科 石原 立

住所:〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話:06-6945-1902

-----以上